

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|--|---------------------------------|----|-------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第142号 | 氏名 | 中尾 優子 |
| 学位審査委員 | 主査 青柳 潔 副査 篠原 一之 副査 増崎 英明 | | |
| 論文審査の結果の要旨 | | | |
| <p>1 研究目的の評価 本研究は、多くの利点を有する母乳について、初回授乳までの時間とその後の母乳栄養割合との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> | | | |
| <p>2 研究手法に関する評価 4ヶ月健診を受けた児の母親に対し質問紙調査を行い、初回授乳までの時間、入院中・1ヶ月時・4ヶ月時の授乳方法、母児の属性、分娩の特徴、出産後のケア内容を調べ、適切な統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> | | | |
| <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、分娩後120分以内の母乳の開始はその後の母乳栄養割合を高めることを明らかにし、今後の母乳栄養研究への進展が大いに期待される。</p> | | | |
| <p>以上のように本論文は母子保健研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p> | | | |